

コバトン着ぐるみ 装着要領

1 装着の手順（脱ぐときは逆）

- ①しっぽのベルトを胴体背面下部の穴に差し込み、内側のマジックテープにしっかりと固定する。しっぽの向きに注意（はね上げるように）
- ②胴体にタスキをかける（右肩が上）。たるまないように、胴体にピンと張るようにして、肩と裾を安全ピンで留める。
- ③装着者は長袖Tシャツ、ジャージ等の軽装になり、首や頭にはタオルを巻く。
- ④黄色いズボン（タイツ）を着用し、両足にコバトンの足（靴）を履いて足首のベルトを留める。手袋を着用する。
- ⑤胴体をかぶり、羽に腕を通す。
- ⑥頭部を付けてもらう。胴体の首の前後にマジックテープ付きのツメ（ストッパー）がある。まず前ツメを頭部にはめ、後ろツメを押し込んではめる。
- ⑦手を挙げたり体を動かしてみて、しっかりと固定されているか確認する。

2 装着中の心得

- ・着ぐるみの運搬及び装着の一切は、使用者の責任において行うこと。
- ・装着者は、可能な限り身長160cm～170cmの者とする。
- ・着ぐるみを汚損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。
- ・雨天時及び降雪時は、絶対に屋外使用しないこと。
- ・着脱しているところを関係者以外に目撃されないようにすること。**特に子供の前では厳禁。**
- ・**声を発しないこと**（関係者との連絡等のため、やむを得ず声を出す必要がある場合には、関係者以外に聞こえないよう細心の注意を払うこと）。
- ・必ず介添え人を付け、コバトンだけで単独行動しないこと。
- ・換気が十分ではないので、走らないこと。
- ・幼児がしっぽではじかれると転倒してしまう可能性があるため、急に体の向きを変えないこと。引っ張ったり体当たりする子供もいるので、介添え人は優しくたしなめるなど気を配ること。

- ・出演中は、羽の中のベルトをつかむと動きやすい。小さなモノを持つときなどは、穴から手（手袋装着）を出すことも可能。
- ・長時間のイベント等では、30分程度で交代すること。ただし、炎天下の中、屋外で活動する等、厳しい環境での使用の際はこまめに交代をすること。
- ・夏場使用する際は、水分補給し、熱中症への対策を十分にとった上で使用すること。気温によっては、使用の中止も検討すること。

3 使用後の注意

- ・使用後は、頭部、胴体、足（靴）の内面をよく乾かすとともに、きつく絞ったタオルで汗、汚れ等をよく水拭きすること。
- ・手袋、ズボンは洗濯ネットに入れて選択し、アイロンをかけた上で返却すること。

4 コバトン タスキ装着方法

☆コバトンには**必ずタスキを着用**してください。装着方法は以下のとおりです。

- ① 右肩にタスキの頂点を合わせる（ずれるようであれば、安全ピンで留める）。
- ② タスキをコバトンの胴体の下に通す。
- ③ タスキがたるまないよう、コバトンの胴体にぴったり沿わせて整える。

☆装着イメージ図

《正しい例》

タスキがピンと張っている



《誤った例》

タスキがたるんでいる
左右逆になっている



〈お問い合わせ〉 埼玉県西部地域振興センター

〒359-0042 埼玉県所沢市並木1-8-1

電話：04-2993-1110

電子メール f9311102@pref.saitama.lg.jp